

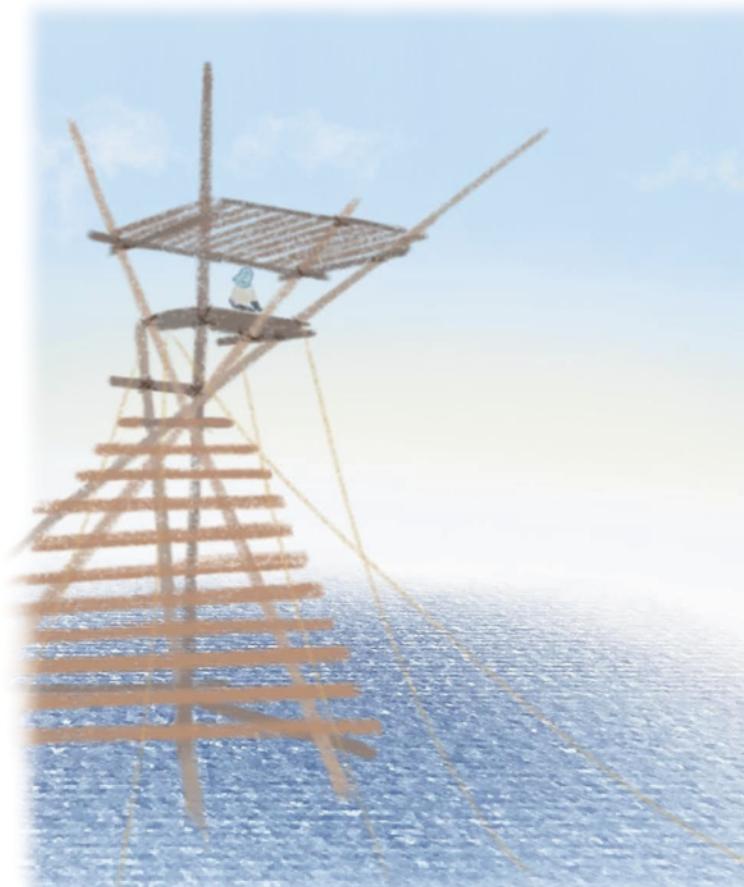
はっぴー 弘済会

第32号

新春
特大号

公益財団法人
日本教育公務員弘済会石川支部
株式会社 石川教弘
〒920-0901 金沢市彦三町2丁目1番45号 むさしビル6F
ホームページ
<https://www.nikkyoko.or.jp/company/ishikawa/index.html>

Not forget NOTO!!



穴水中校長室より

何度か訪れている、穴水町立穴水中学校。いつもにこやかに迎えてくれるのは廣澤校長先生。「令和6年度・給付奨学金(震災対応)事業」の件で訪問した際、撮らせていただいた写真です。

廣澤校長自ら記録されている「校長室日記」の「令和6年2月29日」付けの1ページ。それを拡大コピーされて、校長室入口近くに大きく張り出されているものです。「発災から1ヶ月間、何が穴中で起こっていたのか、そこまでの歩みに関し、感謝の気持ちを忘れないよう、書き留めました。」とのこと。

このコピーの下部に張られたことばが心に刺さり

校長室日記

令和6年2月29日

穴水高校の卒業式を明日に控え、来賓控室となる校長室の掃除を始めました。周りの壁には、1月5日から1月31日まで、校長室で全教職員が集まって行った朝の打ち合わせのメモがびっしり貼ってありました。片隅には寝袋と毛布、いろいろな物資、カップラーメンもありました。

毎日の仕事をしていると、1・2学期とかわらない普通の時間が多くなってきました。でも、壁に貼られているメモや置かれているものを見て現実に引き戻される、こんな毎日を送っていました。ようやくこれらを全て片付けました。

世の中は復興に向けてどんどん進んでいます。穴水中学校も今できるこことを精一杯行っています。だからこそ、1月1日からの出来事を振り返りまとめることが必要だと考えました。

1月 1日 午後1時10分	震度6強の地震発生 大津波警報発令
午後1時40分ごろ	学校玄関の施錠を開ける 約350名が避難
2日 約200名が避難	アルファ米やパンの配給 その他物資が届き始める
3日 仮設トイレ設置	避難者全員にいきわたるだけの十分なパン・カップ麺・水の配給
4日 発電車による発電開始	
5日 校長やっと出勤 校長室の片づけ	
8日 積雪15センチ 避難している小中高校生のボランティア隊が除雪活動	
9日 職員12名出勤	
14日 水道通水	神戸市水道局の皆さんによる支援
16日 避難所が教室を中心とした校舎内から剣道場・第2体育館に移動	避難所が教室を中心とした校舎内から剣道場・第2体育館に移動
17日 3年生対面とオンラインによるハイブリッド授業開始	3年生対面とオンラインによるハイブリッド授業開始
22日 穴水高校の授業再開	
23日 トイレ使用可能	
26日 1・2年生ハイブリッド授業開始 3学期始業式	1・2年生ハイブリッド授業開始 3学期始業式
29日 穴水小学校の授業再開	
現在に至る	

1月26日に全学年のハイブリッド授業が始まり、学校が再開しました。食べ物、電気、水、トイレ・・・何もない生活から26日目でした。電気がきた、水道が、トイレが使えるようになったと大喜びしたあの日。毎日が感謝の連続でした。学校が始まってきたからは、毎日のように多くのご支援をいただきたいと思います。「感謝」の思いを忘れることがなく、残り少ない3学期を送っていきたいと思います。

校長 廣澤 孝俊

ます。ようやく3学期の始業式が行われた日のメモです。「令和6年1月26日 今日の一歩は小さいけれど/大人になって振り返った時/自分の人生を切り開く/大きな一歩だったと思えるはずだ。穴水中」こどもたちの未来に期待する、全教職員の気持ちを代弁するメモ、と拝見しました。あれからはや1年。今一度、石川県の全教職員で共有したく、掲載させていただきました。Not forget NOTO!!

珠洲の料理人大集合！ 「すずなり食堂」

皆さん、こんにちは。日教弘石川支部支部長の⑩です。今回のぼっちめしは…道の駅すずなり横、「すずなり食堂」。被災した4店舗、「グリル瀬戸」「レストラン浜中」「庄屋の館」「典座(てんぞ)」の合同会社がオープンしたお店。お隣のお弁当屋さん「すずキッチン」も相まって、お昼時、賑わってます。

今回いただいたのは「きまぐれランチ 平日ランチタイム30食限定」。訪れた日のメニューは、天然ブリのフライ(初めての食感！さくっの後にレアな火入れのブリのうま味！)・天然ブ

リのお造り(脂の乗ったお刺身を海苔で巻いたの最高！)・ポテトフライ・野菜サラダ・(地元の海藻の)ダイズルの味噌汁・漬物という豪華ラインアップ！盛りつけも料亭並み！お腹ぱんぱん。さすがです！絶対オススメ！復興支援！！日教弘石川支部も、小さくとも、長く永く、能登支援事業を継続していきます。“Not forget NOTO!!”



さて、今回紹介する支部事業は…「令和6年度・給付奨学金(震災対応)事業」。

この事業は年度当初配布の当支部「事業案内」やHPでは紹介しておりません。能登半島地震発災直後から、日教弘本部と交渉、独自予算を確保し、今年度のみ実施の事業です。被害が深刻だった奥能登2市2町の中学校・義務教育学校に在籍する、令和6年度の最終学年の生徒に対し、1人1万円を給付する事業です。結果として、12校から169人の申請があり、その全員に1万円を給付することができました。

こどもたちの声を、その受領報告書から一部抜粋します。「第1志望校に合格し、勉強と部活動の二刀流でがんばります！」「将来の夢のために奨学金は大切に使わせていただきます。ありがとうございました。感謝です！」「文房具やワークの購入に使います。助かります。」「検定にチャレンジして、高校進学に役立てます。」「学習環境が十分に整わない中、自習に励み、(中略)将来の夢を叶えるための参考書代に使わせていただきます。」「地元の高校に合格し、野球も勉強も、どちらも良い成績を残せるように精一杯がんばります。」「あきら

めずにがんばります。優秀な自衛官になります。」「相撲を高校でも続けようと考えています。(中略)全国大会を目指して頑張ります。」「勉強とテニスを両立します。英検2級を目標に頑張ります。」「高校でも吹奏楽部でがんばる。将来は看護師になりたいので、勉強もがんばる。」「第1志望校に合格し、勉強も陸上も良い成績を残せるようにがんばります。お金は大切に使わせていただきます。」「受験勉強を頑張ります。学校生活では、生徒会活動を通して、3年生として、1・2年生を引っ張っていきます。」「将来、珠洲市の再建に携われるよう、勉強頑張ります。奨学金は大切かつ有効に活用したいと思います。」

日教弘石川支部は皆さんの日常の教育実践を応援しています！！今後ともよろしくお願ひいたします。ではでは。今回は、この辺で。CU ASAP！



是非一度、ご覧下さい！ 当支部HP 「申請書その他ダウンロード」！

「学校実践論文助成事業」とは？：教育関係者により日々行われている教育実践論文を募集。支部奨励賞として学校部門1校5万円、個人部門1人3万円を授与。また、支部奨励賞を受けた論文から、特に優れた論文を「第30回日教弘教育賞」に支部推薦として応募。

今年度の当支部奨励賞を受賞した6編の教育実践論文（各A4×4ページ）、絶賛公開中です！日頃行われている教育実践を、見事にまとめあげた論文です。皆さんと同じ、いしかわの先生達の生の記録です。応用できそうな実践、ございましたら、是非ともご活用いただければ、幸いです。なお、論文に関する各種お問い合わせについては、各校・各先生方が対応していただけることになっております。素晴らしい実践記録を、広く公表することで、石川の教育の発展に少しでも寄与できれば、との思いから、今年度からHPでの公開に踏み切った次第です。

我が校の実践も紹介したい、という管理職の方々！自身の取組をみんなに知って欲しい、なんなら「奨励金」も欲しい、という先生方！A4サイズ4ページにトライしてみませんか？さあ、来年度は皆さんの出番です！！今年度を上回る応募、心より期待しています。日教弘石川支部は皆さんの日常の教育実践を応援しています！！

令和6年度学校実践論文助成事業：支部奨励賞受賞校3校および受賞者3名

【学校部門】

石川県立輪島高等学校 校長 平野 敏 <「第30回日教弘教育賞」に支部推薦>

【主題】 未来の輪島を創造していく担い手を育成する「WAJI活（輪島活性プロジェクト）」

【副題】 ～輪高生（りんこうせい）による街づくりプロジェクト（街プロ）～

加賀市立庄小学校 校長 野田 美由紀 <「第30回日教弘教育賞」に支部推薦>

【主題】 児童は自律した学び手、教員は自走する集団をめざした教育実践

【副題】 ～単元内自由進度学習全校実施の取組を通して～

羽咋市立栗ノ保小学校 校長 田中 利弘

【主題】 主体的に考え、表現する児童の育成

【副題】 ～自ら決める、自ら学ぶ、共に深める単元・授業デザインを通して～

【個人部門】

教諭 永井 重輝 金沢市立富樫小学校 <「第30回日教弘教育賞」に支部推薦>

【主題】 自ら学び、つながりの中で高め合う姿があふれる理科授業を目指して

【副題】 ～児童の「問い合わせ」と「見方・考え方」に着目して～

教諭 黒崎 弘司 金沢市立工業高等学校

【主題】 ドローンとICTを活用したインフラメンテナンスに関する学習

【副題】 ～STEM教育による工業高校土木教育の魅力啓発～

校長 才鷹 浩子 白山市立北辰中学校

【主題】 「自己理解・自己管理能力を育むカリキュラム・マネジメントの推進」

【副題】 ～生徒、教師、保護者が相互にパートナーとして一体となり、いい音を響かせ愛を育む学校づくりを目指して～

当選

学校応援キャンペーン

6月～8月にかけて、日教弘が主催の「学校応援キャンペーン」がありました。このキャンペーンには、提携保険会社であるジブラルタ生命の学校担当LCが学校管理職の方にアンケートして頂き、抽選で学校に役立つ製品(テント、高圧洗浄機、ポータブル電源、スポットエアコン)をお届けする内容でした。

令和6年1月の能登半島地震を考慮して、石川県には特別に高圧洗浄機30台が用意されました。(株)石

川教弘からも18台追加発注し、合計48台を県内の当選された学校へお届けできました。また、石川県分当選4校も含めると、今年度は52台の高圧洗浄機を下記の学校へお届けしました。また、テント1張りが鵬学園高等学校へ送られました。次年度は、さらにバージョンアップして実施されるようですから、期待していくください！

加賀市立分校小学校
加賀市立湖北小学校
小松市立板津中学校
白山市立朝日小学校
白山市立北陽小学校
金沢市立米泉小学校
金沢市立森本小学校
金沢市立額小学校
内灘町立西荒屋小学校
かほく市立大海小学校
七尾市立山王小学校
七尾市立小丸山小学校
穴水町立向洋小学校
輪島市立町野小学校
県立加賀聖城高等学校
県立金沢西高等学校
県立飯田高等学校
金沢龍谷高等学校

加賀市立勅使小学校
加賀市立金明小学校
能美市立湯野小学校
白山市立光野中学校
野々市市立御園小学校
金沢市立戸板小学校
金沢市立米丸小学校
金沢市立長町中学校
内灘町立白帆台小学校
羽咋市立粟ノ保小学校
七尾市立和倉小学校
七尾市立田鶴浜小学校
能登町立小木中学校
輪島市立東陽中学校
県立小松高等学校
県立医王特別支援学校
県立いしかわ特別支援学校
遊学館高等学校

加賀市立片山津中学校
小松市立木場小学校
能美市立辰口中学校
白山市立北星中学校
金沢市立内川中学校
金沢市立明成小学校
金沢市立中村町小学校
金沢市立千坂小学校
内灘町立清湖小学校
志賀町立志賀中学校
七尾市立能登島小学校
穴水町立穴水中学校
能登町立鵜川小学校
県立大聖寺実業高等学校
県立翠星高等学校
県立輪島高等学校

9月の能登豪雨の前に配達されましたので、能登の学校では早速使っていただけました。お役に立てて、うれしく思います。

